



# とっぱずれ



銚子東ロータリークラブ Weekly Bulletin NO. 2130



シルネン氏歓迎会「大吠埼ホテル」

第2130回 例会 平成28年2月16日

\*\*\*\*\*

点 鐘 … 藤崎 一成 会長  
 ローターソング … それでこそロータリー  
 来訪ロータリアン紹介  
     … 親睦活動・家族委員会  
 会 長 挨拶 … 藤崎 一成 会長  
 御 祝 披 露 … 藤崎 一成 会長  
     誕 生 祝 … なし  
     結 婚 記 念 日 … 泉川 徳士 会員(2月10日)  
     入 会 記 念 日 … なし

幹 事 報 告 … 星野 隆 幹事

ニコニコBOX … 親睦活動・家族委員会

卓 話

「しょうゆに秘められたさまざまな効用  
 (調理時におけるしょうゆの機能から)」  
 宝醬油(株)品質保証部 監査役 菅原 周一 氏

出 席 報 告 … 出席・プログラム委員会

第8回定例理事会(例会終了後)

2月23日(火) 休会(2/21IMに振替の為)  
 次回のプログラム(平成28年3月1日)

\*\*\*\*\*

卓 話

「地区大会参加報告」 黒田 幸一 会員

お食事「川元」



## Be a gift to the world

世界へのプレゼントになろう

2015~2016年度 RI会長 K.R. ラビンドラン

第 2129 回例会(平成 28 年 2 月 9 日)

**会長挨拶**

藤崎 一成 会長

皆様、こんにちは。本日は元米山奨学生のシルネン ブヤンジャンル様、また堀口委員長をはじめ地区の米山委員会の皆様が多数お見えでございます。シルネン様は新モンゴル高等専門学校を設立し、現在、同校の校長を務めておられます。後程、卓話を頂きます。宜しくお願ひ致します。

さて、一昨日は年に一度の地区大会でありました。今回の地区大会において宮内宗一会員が長寿ロータリアンとして表彰され、また、山本嘉一郎会員が 35 年、100%出席ロータリアンとしてそれぞれ表彰されました。両会員におかれましては今後も銚子東 RC 一同の鑑としてご活躍を下さるようお願い申し上げます。

この度の地区大会の記念講演は J リーグ初代チェアマンの川淵三郎氏による「夢があるから強くなる」というものでした。本講演において私が最も感銘を受けたのは、鹿島アントラーズの誕生にまつわるエピソードでした。

当時、J リーグの発足にあたり 10 チームを選ぶ必要がありアントラーズの前身にあたる住友金属工業蹴球団も名乗りをあげておりました。しかし、当時の実力は未だ J リーグに加盟できるレベルには達しておらず、加えて鹿嶋の都市としての規模の小ささから、集客能力にも問題があるとして関係者の大半は住金のプロリーグ入りに批判的な意見をもっておりました。

そのような事情から川淵氏は「住金が J リーグに加盟できる可能性は限りなくゼロに近い。99.9999%無理だ」と言い切っておりました。それを聞いた住金側は「では 0,0001% は可能性があるんですね」と逆に言い返したのだそうです。この回答にびっくりした川淵氏は「99,9999%ダメというのは、ほぼ 100%無理という意味です！」と言ったところ「いや違います、残りの 0,0001 は可能性があるということですね、それは一体何ですか？」と食らいついていったとのこと。困った川淵氏は住金側を諦めさせる為に更に厳しい条件を突き付けました。それは「15000 人収容のサッカースタジアムで、かつ、観客席に屋根が付いた競技場を作れば、考え直してもよい」というものでした。この条件は当時の状況では、到底実現不可能な条件であり、さすがの住金側も肩を落としてその日は帰っていったそうです。

ところが、しばらくして再度、住金側より申し出があり「川淵さん、茨城県の竹内知事が屋根付きで 15000 人収容のサッカースタジアムを建設すると言ってます！」と言い出し、川淵氏が要求した条件をクリアしてしまったのだそうです。さすがに、ここまでされれば住金の J リーグ加盟を認めざるを得なかった、と当時を述懐しておりましたが、加盟を諦めさせる為の条件を却って、加入を認めざるを得ない状況に変えてしまった住金側の強き信念に深い感動を覚えたものであります。同時に「99,9999%ダメ」と言われたことを「ほぼ 100%無理」と捉えるか「いや、0,0001 の可能性がある」と捉えるかの違いによってその後の将来は大きく変わってくるのだということを実感した次第であります。このことは私達の日々の事業生活の中においても、共通する精神なのではないでしょうか。

それでは今週もロータリー哲学の実践により、皆様方の御事業がますますの発展を遂げられることを切に願ひつつ、2 月第 2 例会の会長挨拶とさせていただきます。

**幹事報告**

1・ガバナー事務所より

クラブ請求書についてのお知らせ (R I より) 受領

2・ロータリーの友事務所より

2016-17 年度ロータリー手帳お買い上げのお願い 受領  
☆会報受領 鹿島臨海 RC 八日市場 RC

**卓話**

「繋がる夢」

元米山奨学生 (2790 地区 成田 RC) (モンゴル)

シルネン・ブヤンジャンル 氏

皆さま、こんにちは。いつもお世話になります元米山記念奨学会奨学生、モンゴルの学友シルネン ブヤンジャンルと申します。この度、卓話をさせていただきご機会をつく



てくださり、誠にありがとうございます。当クラブの会長、藤崎さま、クラブの会員ロータリアンの皆さま、そして 2790 地区米山記念奨学会委員長堀口さま、委員の皆さまに心からお礼を申します。ありがとうございます。

さて、本日の卓話ですが、「繋がる夢」と題して話させていただきます。今日の私が、実は、私の父の夢の続きであります。皆さまロータリアンはポールハリスさまや米山梅吉さまの夢を共有しそれを受け継いでこちらにいらっしやるのではないかと思います。

私は昭和 58 年にモンゴルのウバスという県に生まれました。ウバス県はモンゴルの西北部にあり、ロシアの国境に接しています。首都ウランバートルから 1300 キロも離れているところです。モンゴルの伝統的なお家で 4 兄弟と両親で生活していました。姉が 2 人と妹が 1 人います。男の子 1 人ですが、トラックの運転手である父、経理士の母が家事や家の外の仕事をさせておいて、その度、「今、家事や家の外の仕事をさせているけどこれに将来は感謝するよ！」と言ってくれました。それは本当にその通りであったことを後に分かりました。

17 歳の時に大学へ進学するために首都ウランバートルへいき、家を離れます。その時、両親は「君はもう 1 人前だよ、自分を信じていきな。一つだけ、お願いがあるんだ。最低一つでもいいから国のために何かをやってほしい。それだけだ。」と言いました。それ以来、今日まで両親が託してくれたお願いを胸にやっております。そのお願いの背景を考えるとモンゴルの社会的な問題があります。1990 年まで社会主義だったモンゴルが民主化されます。人々は幸せになると思っていました、民主主義というより資本主義に偏り、貧富差が増していきます。資本を入手できるならば、人を騙すなど「何でも」やるというくらいになってしまいます。それを目の当たりにした両親は私に前記のお願いをした訳です。

モンゴルの話を少ししますと、モンゴルは人口がおおよそ 300 万人強、国土面積は日本の 4 倍くらい、鉱物資源・



レアメタルが豊富な国です。また、地上資源としては家畜があり、4500万頭もいます。しかし、資源をあるといえ、付加価値をつけず、資源そのまま、中国やロシアに輸出しています。なので、その2大国の経済が低迷すれば、モンゴルの経済もすぐに打撃を受けます。

さて、託された夢を胸に、私は19歳の時、2003年に運良く国費で日本へ留学します。日本とモンゴルの環境には本当に「天と地」というくらいの差がありました。例えば、私はモンゴルにいた時週1回シャワーを浴びていたのが日本では好きな時に入れる、携帯電話をもったことがない私は初めて自分の携帯を持てました。まず、環境に恵まれ、日本の国民に大変感謝していました。東京で1年間の日本語の教育をうけ、2004年に日本の長崎県佐世保市にある佐世保工業高等専門学校に進みます。全寮制で規則厳しい環境で工業系の勉学に挑みました。ここでの生活は、今振り返ってみる度に本当に良かったなと思っています。専門的な知識や経験はもちろんですが、人としても少し成長したのではと思っています。また、同級生を始め、仲間もできました。本当に良かったですね。工業高等専門学校は日本独自の教育制度で今から約50年前に、高度成長期の前1962年にできた教育制度です。通称は「高専」と言います。中卒、つまり、15歳の子供が入学し5年間実践的な技術教育を受け、20歳で社会人になる技術を育成する学校です。1年生から技術教育を受け始め、企業と密着に協力していくため、卒業生の就職率は100%を誇る特徴を持っています。日本国内ではあまり知られていませんが、近年、中堅的な技術者を育成教育制度として諸外国から注目を集めています。

2007年に佐世保高専を卒業して就職せず、最先端な研究を行いたいため、千葉大学へ進めました。高専時代も大学時代も両親に託された夢は忘れることなく色々な人に自分の夢を話して意見交換したりしていました。千葉大学大学院の時、国費の奨学金が終了し私費留学生になっていました。その時、また、運良く米山記念奨学金に出会い、そして、素晴らしいロータリアンの皆さまと知り合いになります。そして、成田ロータリークラブに1年間お世話になりました。ロータリアンの皆さまに大変刺激を受けました。「みんなのためになるか」という4つのテストの一つ、奨学金というお金を外国人という私にくださること、なんと素晴らしい方々、なんと寛容な方々なのかと感動しました。ロータリアンの皆さまは知識や経験に富んだ方々で色々と聞いたり、知恵を頂きました。それでより、「国のために何かやらねば」という思いも強まります。

色々考えて、多くの方々に聞いたり、意見交換をしたりした結果、やはりモンゴルが発展するために資源に付加価値をつけるべきと考え、そしてその付加価値をつけるために何が必要か考えれば、やはり、人材でした。具体的には「嘘をつかない技術者」こそがモンゴルで産業を興し、資源に付加価値をつけられると思いました。それでそんな人材を育成できる制度として、私が卒業した高専だということに行き着きます。

モンゴル国が発展すれば、モンゴルのためだけではな

く、それ以外の国々、日本のためにもなると思いますしなるべきだと思います。

高専をつくるべきだという考えをもち、色々な方に会い、考えをぶつけていきます。その中で理解者に出会います。その人は、なんと元米山奨学生のモンゴル人でした。ジャンチブ氏は30歳で娘4人と奥さんを連れて山形大学院に留学し苦学されていました。そんな時、1998年に米山記念奨学金に救われ、人生が変わった人です。多いに喜んでロータリアンの皆さまに刺激を受けた彼は一つ約束したと言います。それは、モンゴル初の日本式の高校をつくることでした。彼が2000年につくった高校がモンゴルで進学高として大変有名な学校になっており、300人を超える卒業生が日本への留学を果たしています。そんな彼に私が自分の夢や考えをぶつけた時、「今度は、あなたの番だ！私もあなたと同じように米山奨学生でしたし、色々な方に協力して頂いて今の自分がいる。だから、あなたの夢を実現に協力します。」とってくれました。2014年に校舎をつくってくれ、その9月に日本の高専をモデルにした新モンゴル工業高等専門学校が開校します。彼は校舎だけは立派につくってくれましたが、その中身をつくっていくのが私の仕事です。日本の高専をモデルにしているため、そのカリキュラムを基に教育を行いますが、教室の机、椅子から実験室の機材など何かから何まで今後整えていかなければなりません。また、高専ならではの特色である、企業さまとも密接な協力関係をつくりあげていく必要があります。すでに国内企業さまとは協力協定を結び、昨年6月に15歳の学生20人に体験型インターンシップを一週間から10日間やらせて頂きました。これも今後続けてやっていきたいと思っています。我が高専では1年生から日本語教育を行っていますので日経企業とも協力を結んでいきたいと思っています。そのための活動も国内や日本でやっております。皆さまは結構前向きに考えてくださり、すでに機材を寄贈してくださった日本企業もあります。最終的にうちの卒業生が日本の技術者と一緒にモンゴルの資源に付加価値をつけていけたら、何より最高ですね。

さて、最後にロータリアンの皆さまへ、米山記念奨学金は色々な学生の人生を良い方向に変えています。そして、その奨学生がさらに次の人や人生を良い方向に誘導していています。

言えば、皆さまが撒いた種が成長し、そして次の種をつくっていています。皆さま、どうか米山記念奨学会を引き続きよろしく願いいたします。そして、私は自分の夢を実現し、新モンゴル高専を立派な学校に成長させ、いつか皆さまにみていただきたいと思っています。

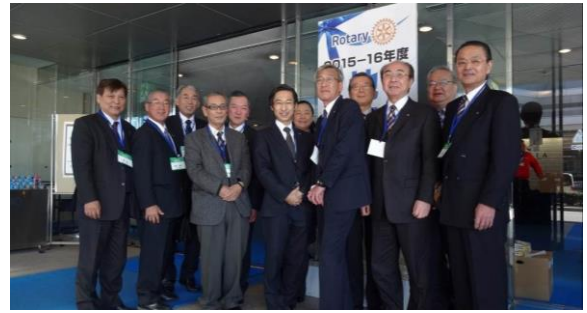
本日はどうもありがとうございました。



ニコニコ

地区米山記念奨学委員会 委員長 堀口路加様

米山奨学生ピョーサンディマウンさんが2年間お世話になりありがとうございます。残りの奨学期間わずかとなりましたが、この奨学期間終了が米山奨学生の使命の本当のスタートになります。引き継ぎ彼女が将来ロータリアンになれるよう応援し関わりを持ち続けて下さい。又、本日は米山学友のホームカミングで来日しているシルネン・ブヤンジャルガル氏をお招きいただきありがとうございます。地区委員4名でお邪魔させていただきました。次年度は千葉科学大学から2名の奨学生が合格しておりますので、また新たな奨学生をお引き受けいただくことになろうかと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。様々なお願いを感謝をこめて地区委員を代表してニコニコさせていただきます。



地区大会表彰

長寿ロータリアン…宮内宗一会員



35年間出席100%…山本嘉一郎会員

第7分区ガバナー補佐 黒田幸一様

補佐幹事 宮内博様

地区大会参加して頂きありがとうございました。今回は2月21日のIMです。皆様のご協力宜しくお願いします。

藤崎一成会長・星野隆幹事

地区大会へのご参加ありがとうございました。

地区大会

平成28年2月7日(日)  
アパホテル&リゾート東京ベイ幕張ホール



↑ 櫻木ガバナーを囲んで

ピョーさん  
↓



前回の例会(2/9)報告

点 鐘 藤崎 一成 会長

出席報告

会員総数	37名	出席規定除外数	5名
出席者	27名	出席率	61.77%
1月27日		確定出席率	100%

来訪ロータリアン

第2790地区米山記念奨学委員会	
委員長 堀口路加氏	(成田RC)
副委員長 山崎浩一氏	(佐原香取RC)
委員 上野 聡氏	(市原RC)
委員 小川 一氏	(松戸RC)
岡根清君 大岩將道君	(銚子RC)

欠席者 9名

メイクアップ なし

スモールコインBOX	小計 ¥ 2,000-
	累計 ¥ 44,726-
ニコニコBOX	小計 ¥ 24,000-
	累計 ¥ 252,330-

銚子東ロータリークラブ

銚子市三軒町19番地の4 銚子商工会館内 TEL0479(23)0750 FAX0479(25)8789  
メール [c-higashirc@tcs-net.ne.jp](mailto:c-higashirc@tcs-net.ne.jp) URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~rc>

例会日時及会場 毎週火曜日 12時30分点鐘 銚子商工会館5階大会議室  
会長 藤崎 一成 副会長 釜谷 藤男 幹事 星野 隆

R. I 第2790地区

クラブ広報・会報委員会 飯田貴之・幸保正東・宮川雅夫・宮内勝利・宮内宗一・杉浦 武  
表紙題字 網中喜一郎初代会長

ほととぎす 銚子は国の とっばずれ

古帳庵

江戸小網町の豪商鈴木金兵衛夫婦(古帳庵 古帳女)が銚子に遊んだときに詠んだもので、この碑は圓福(円福)寺に現存する。